

提出内容

受付番号： 195210041000000059
提出日時： 2021年11月15日11時46分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-156階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：

該当箇所

10頁346-347行目

意見の要約

和歌山県におけるタイワンザルについて、分散したタイワンザルのオス個体や交雑個体については未だ詳細が不明であり、調査を継続中である。正確な情報を加筆すべきである。

意見内容

タイワンザルの地域根絶事例は特筆すべきことであり、成功事例として示すことに異論はありません。しかしながら、タイワンザル母群は排除されたものの、母群から分散したオス個体や交雑個体については現在もモニタリングを継続中です。よって、正確な情報を加筆すべきであると考えます。

意見の理由

和歌山県のタイワンザルについて課題が全て解決されたわけではないため、正確な情報を記載すべきであると考えます。

（出典）

提出内容

川本芳, 白井啓, 荒木伸一, 前野恭子 (1999) 和歌山県におけるニホンザルと
タイワンザルの混血の事例. 霊長類研究 15:53-60

川本芳, 大沢秀行, 和秀雄, 丸橋珠樹, 前川慎吾, 白井啓, 荒木伸一 (2001)
和歌山県におけるニホンザルとタイワンザルの交雑に関する遺伝学的分析. 霊長
類研究 17: 13-24

清水弟 (2018) 特定外来生物 和歌山県がタイワンザル「根絶」宣言. グリーン
・パワー, 2018年4月号:6-7

白井啓 (2006) 外来サル類によるニホンザルの遺伝子攪乱を防ぐ対策を進めよ
う. 自然保護 493:8-9

白井啓, 川本芳 (2011) タイワンザルとアカゲザル: 交雑回避のための根絶計
画. 「日本の外来哺乳類」(山田文雄, 池田透, 小倉剛編), 東京大学出版会, pp.
169-202

提出内容

受付番号： 195210041000000060
提出日時： 2021年11月15日11時50分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：

該当箇所

15頁540-542行目

意見の要約

遺伝子解析等について、どこまでの解析が含まれるのかや、何をもって簡易であると判断するのかが不明である。曖昧さを含むため、「簡易に」は削除すべきか、書くのであればその基準を示すべきである。

意見内容

未判定外来生物には、近縁の在来種と繰り返し戻し交配することで、外見上、在来種とほとんど区別が付かない交雑個体も含まれます。「遺伝子解析等により簡易に判定が可能な外来生物」と書かれていますが、その基準は示されていません。外来生物法において、遺伝子解析等による判定及び指定を進めるのであれば、現場で利用可能な判定法や判定基準についても同時に整備する必要があると考えます。

意見の理由

提出内容

アカゲザルやタイワンザルとニホンザルとの交雑個体は特定外来生物に指定されていますが、形態では判定できない場合があります。このような個体は未判定外来生物として扱われるため、遺伝子解析は有効な手段であると考えられます。これらの交雑個体について、実効的な監視体制を検討する必要があると考えます。

(出典)

千葉県環境生活部自然保護課 (2013) 平成20-23年度ニホンザル保護 (交雑モニタリング) 事業報告書

濱田穰 (2013) アカゲザルとニホンザル交雑個体の形態学的指標に基づく判定. 霊長類研究 29: 146-151

川本芳, 萩原光, 相澤敬吾 (2004) 房総半島におけるニホンザルとアカゲザルの交雑. 霊長類研究 20: 89-95

川本芳, 川本咲江, 川合静, 白井啓, 吉田淳久, 萩原光, 白鳥大祐, 直井洋 (2007) 房総半島に定着したアカゲザル集団におけるニホンザルとの交雑進行. 霊長類研究 23: 81-89

大澤浩司 (2013) アカゲザル問題についての千葉県の取組. 霊長類研究 29: 152-154

白井啓 (2013) 千葉アカゲザル問題の概要と位置づけ. 霊長類研究 29:138-142.

白井啓, 川本芳 (2016) 房総半島のアカゲザル交雑対策の現状. 霊長類研究 32: 84-86

提出内容

受付番号： 195210041000000061
提出日時： 2021年11月15日12時4分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：

該当箇所

16頁570-590行目

意見の要約

緊急対策外来種に区分されながら対策が進展していないものが存在するという課題について、今後講ずべき必要な措置が示されていない。アカゲザルは緊急対策外来種に指定されており、必要な対策を示すべきである。

意見内容

12頁423-429行目に、緊急対策外来種に区分されながら対策が進展していないものが存在するという課題が示されています。さらに、「外来種被害防止行動計画」の見直しが十分に進められていないと指摘されています。緊急性が求められるものについては、行動計画を見直しと、それを実践できる体制づくりが必要であると考えます。よって、房総のアカゲザルの現状、課題と今後の措置について加筆していただきたい。

意見の理由

提出内容

アカゲザルは「生態系被害防止外来種リスト」において緊急対策外来種に指定されています。また、「外来種被害防止行動計画」の中で、房総半島に生息するアカゲザルについて、「交雑が広範囲に拡大すれば「高宕山のサル生息地」として国の天然記念物にも指定されている地域に生息するニホンザルの遺伝子の固有性が失われ、さらには地域個体群の絶滅につながる危険性があります」と指摘されています。千葉県では、「千葉県の外来生物リスト2020年改訂版」においてアカゲザルを緊急度A（緊急度が非常に高い）に指定し、千葉県アカゲザル防除実施計画を推進しています。しかしながら、現在、房総半島に生息するアカゲザルとニホンザルの交雑は大変深刻な状況です。国、地方自治体等、各主体の協力体制を強化して対策を進めるとともに、アカゲザル問題の現状認識を共有する必要があります。

（出典）

白井啓, 川本芳 (2011) タイワンザルとアカゲザル：交雑回避のための根絶計画. 「日本の外来哺乳類」(山田文雄・池田透・小倉剛編), 東京大学出版会, pp.169-202

森光由樹, 半谷吾郎, 川本芳 (2019) 絶滅が危惧されるニホンザル地域個体群とは何か？ 地域絶滅と交雑問題から考える. 霊長類研究35: 100-101

白井啓 (2006) 外来サル類によるニホンザルの遺伝子攪乱を防ぐ対策を進めよう. 自然保護493: 8-9

白井啓 (2013) 千葉アカゲザル問題の概要と位置づけ. 霊長類研究 29:138-142.

白井啓, 川本芳 (2016) 房総半島のアカゲザル交雑対策の現状. 霊長類研究 32: 84-86

白井啓, 森光由樹, 川本芳 (2018) 和歌山タイワンザル「群れ根絶の報告」と千葉アカゲザル問題「現状と課題」. 霊長類研究 34: 180-185

川本芳, 川本咲江, 濱田穰, 山川央, 直井洋司, 萩原光, 白鳥大祐, 白井啓, 杉浦義文, 郷康広, 辰本将司, 梶裕永, 羽山伸一, 丸橋珠樹 (2017) 千葉県房総半島の高宕山自然動物園でのアカゲザル交雑と天然記念物指定地域への交雑拡大の懸念. 霊長類研究 33: 69-77

丸橋珠樹 (2013) 千葉県のアカゲザル問題：管理の目標設定とロードマップ. 霊長類研究 29:159-163

大澤浩司 (2013) アカゲザル問題についての千葉県の取組. 霊長類研究 29:152-154

千葉県環境生活部自然保護課 (2020) 千葉県の外来生物リスト2020年版

環境省, 農林水産省, 国土交通省 (2015) 外来種被害防止行動計画 生物多様性条約・愛知目標の達成に向けて

環境省, 農林水産省 (2015) 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト

提出内容

受付番号： 195210041000000062
提出日時： 2021年11月15日12時7分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：

該当箇所

14頁489-499行目

意見の要約

希少動物種の域外保全に関して、日本動物園水族館協会と環境省の連携について述べられているが、それ以外の取組として、必要な域外保全施設の設置等が進められていないことが課題であることも書いていただきたい。

意見内容

日本動物園水族館協会と環境省との間で締結された「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づく取組においては、日本動物園水族館協会に加盟していない自然系博物館、動物園等の取組や活動は含まれません。従来の体制や活動の枠組みに限定せず、有効な方策を検討し、推進する必要があると考えます。

意見の理由

房総半島のニホンザル地域個体群は、外来種であるアカゲザルとの交雑により絶滅が危惧されることから、環境省レッドリストにおいて絶滅のおそれのある地域

提出内容

個体群 (LP) に指定されました。房総半島のニホンザル地域個体群の保全のためには、生息域外保全を積極的かつ早急に進める必要があります。日本動物園水族館協会に加盟していない園館であっても、地域に根付いた千葉県内動物園等を有効活用することは、普及啓発活動において地域住民の認識や協力を得ることにもつながると考えられます。したがって、従来の活動や取組を推進するだけでなく、それ以外の域外保全施設の設置についても検討、推進していただきたい。

(出典)

白井啓, 川本芳 (2011) タイワンザルとアカゲザル: 交雑回避のための根絶計画. 「日本の外来哺乳類」(山田文雄・池田透・小倉剛編), 東京大学出版会, pp. 169-202

川本芳, 川本咲江, 濱田穰, 山川央, 直井洋司, 萩原光, 白鳥大祐, 白井啓, 杉浦義文, 郷康広 (2017) 千葉県房総半島の高宕山自然動物園でのアカゲザル交雑と天然記念物指定地域への交雑拡大の懸念. 霊長類研究 33: 69-77

森光由樹, 半谷吾郎, 川本芳 (2019) 絶滅が危惧されるニホンザル地域個体群とは何か? 地域絶滅と交雑問題から考える. 霊長類研究35: 100-101

白井啓 (2013) 千葉アカゲザル問題の概要と位置づけ. 霊長類研究 29:138-142

白井啓, 川本芳 (2016) 房総半島のアカゲザル交雑対策の現状. 霊長類研究 32: 84-86

白井啓, 森光由樹, 川本芳 (2018) 和歌山タイワンザル「群れ根絶の報告」と千葉アカゲザル問題「現状と課題」. 霊長類研究 34: 180-185

藤田志歩, 河村正二, 山田一憲, 白井啓 (2020) 高宕山自然動物園の再建に関する富津市への要望書提出. 霊長類研究 36: 3-7

提出内容

受付番号： 195210041000000063
提出日時： 2021年11月15日12時10分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：
該当箇所
15頁527行目

意見の要約

「●●という策を講じて、迅速にかつ適切に規制できるようにする必要がある」と、必要な措置を書いていたきたい。

意見内容

「迅速にかつ適切に規制できるようにする必要がある」は課題であり、必要な措置が記載されていません。外来生物の交雑による課題については5頁176行目-6頁182行目にすでに書かれており、「今後講ずべき必要な措置」ではこの課題に対する措置を具体的に示すべきであると考えます。

意見の理由

たしかに、「全ての交雑の組合せをあらかじめ想定・指定することは困難である（15頁525-526頁）」と考えられますが、地方公共団体や専門家にヒアリング等をして、可能性のある種をあらかじめ特定外来生物に指定しておくといった措置

提出内容

は必要であると考えられます。例えば、外来サル類について言えば、現在野生化している、あるいは過去に野生化していたカニクイザルは、在来のニホンザルと交雑する可能性が十分に考えられ、事前の対策が重要であると考えられます。

(出典)

白井啓, 川本芳 (2011) タイワンザルとアカゲザル 交雑回避のための根絶計画. 「日本の外来哺乳類」(山田文雄・池田透・小倉剛編), 東京大学出版会, pp. 169-202

Kawamoto Y (2021) Genetic Assessment on the Origin of Alien Macaques in the Boso Peninsula in Japan. *Mammal Study*, 46(2):173-186

清水弟 (2018) 房総のニホンザル危機 アカゲに加えてカニクイとも交雑か. *グリーン・パワー*, 2018年11月号: 6-7

提出内容

受付番号： 195210041000000064
提出日時： 2021年11月15日12時12分

案件番号： 195210041

案件名： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（答申素案）」に関する意見の募集（パブリックコメント）について

所管省庁・部局名等： 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

意見・情報受付開始日時： 2021年10月15日0時0分

意見・情報受付締切日時： 2021年11月16日0時0分

郵便番号： 102-0072

住所： 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階（株）クバプロ内

氏名： 一般社団法人日本霊長類学会 担当 藤田志歩（保全・福祉担当理事）

連絡先電話番号： 099-285-7574

連絡先メールアドレス： fujita@km.kagoshima-u.ac.jp

提出意見：

該当箇所

16頁546-552行目

意見の要約

野生化している外来種との交雑が懸念される在来種の飼養についても、動物愛護管理法と連携して飼養等許可の検査を強化する必要がある、という内容を加えてはどうか。

意見内容

野生化した外来種が動物園等で飼育下にある在来種と交雑する恐れがある地域では、在来種の飼養等についても適切な飼養管理が必要です。展示動物については、動物愛護管理法のもと、飼養及び保管に関する基準が定められています。したがって、動物愛護管理法と連携して、動物園等飼養施設の検査を強化する必要があると考えます。

意見の理由

過去に、ニホンザルとして飼育されていた個体の中に交雑個体があったという事例

提出内容

がありました。これは、当該施設の老朽化により、飼育個体が逸走可能であったり、外来種である野生個体が施設内に入れたりできる状態であったことが原因でした。動物園等の施設内で交雑個体が誕生し、野外に供給されることは絶対に避けなければなりません。

(出典)

川本芳, 郷康広, 辰本将司, 梶裕永, 羽山伸一, 丸橋珠樹, 川本咲江, 濱田穰, 山川央, 直井洋司, 萩原光, 白鳥大祐, 白井啓, 杉浦義文 (2017) 千葉県房総半島の高宕山自然動物園でのアカゲザル交雑と天然記念物指定地域への交雑拡大の懸念. 霊長類研究, 33(2): 69-77

清水弟 (2018) 房総のニホンザル危機 アカゲに加えてカニクイとも交雑か. グリーン・パワー, 2018年11月号: 6-7

動物愛護管理法